

文部科学省委託「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」
 モデルプログラム（2017年度版）を活用した授業・研修事例
 支援員の養成・研修 No.1

カリキュラム(計画) 外国の子どもの学習サポーター養成講座 第4回

作成者 氏名：茂木 眞佐代

○養成・研修 / 基礎・専門・○支援員 (該当するものに○)

★参照したモデルプログラムNO. (報告書 pp. 207-244) 下線：内容・項目 (pp. 72-76)

日時・場所	2018年11月22日(木)10:00~12:30		於：磐田市立東部小学校	
実施団体・機関	一般社団法人磐田国際交流協会			
研修・授業名	外国の子どもの学習サポーター養成講座 第4回			
受講者	・人数:6人 ・年齢層:20代(1)名 30-40代(3)名 50代()名 60歳以上(2)名 ・その他: ・受講者の立場 外国の子どもの支援に関心がある人			
演題・テーマ☆	サポートについて学ぼう③		☆研修内容(報告書 pp. 72-76)	
到達目標	外国人と接する活動(サポートのミニ体験)を通して、支援について意欲を高める			
活動展開 (150分)		★	形態	留意点
導入：(20分) 1. サポートについて事前指導			講義	■体験するクラス、児童について知る。実態把握の視点を知る。 ■子どもと接するときの注意点、サポートの基本等確認する。
展開：(100分) 2. 在籍学級(2学級)のミニ体験(学校の3時間目)		⑭	体験	■第3回の見学を踏まえ、子どものそばについてみる
3. 加配教員から話を聞く		⑭	講義	■どのような判断でサポーターをつけているか、どのようなサポートが役立っているかなど、教員の立場から話してもらう。
4. JSLサポーターから話を聞く		⑭		■サポートでの児童の変化、児童や教員との関わりについての事例などを話してもらう。
参考資料				
JSLサポートの手引き				

<p>5. 加配教員・JSL サポーターを交え、サポーターのあり方について理解を深める</p> <p>まとめ：(30分)</p> <p>6. 振り返り</p> <p>7. 修了証発行</p> <p>アンケート記入（追跡アンケート含む）</p>		<p>話し合い</p> <p>発表</p>	<p>見学や体験、教員とサポーターの話を踏まえ、気づいたことや感想、質問など話し合いサポートへの理解を深める。</p> <p>■講座を通しての学びを共有する。</p>	<p>修了証</p> <p>アンケート用紙、振り返りシート4</p>
---	--	-----------------------	---	------------------------------------